

牛久小学校区タウンミーティング議事録

開催日 平成 29 年 2 月 13 日 15 : 00 ~

場所 : 本庁舎第 3 会議室

- 1 市長挨拶
- 2 市側及び区側出席者紹介
- 3 事業報告及び話し合い 各部長より説明
 - ①エスカードビルの現況 (市長)
 - ②公共交通対策 (経営企画部長)
 - ⑥空き家対策 (建設部長)

【城中行政区】

城中行政区 : イズミヤの問題について、お伺いしたい。イズミヤが振るわなかったというのは、駐車場の問題かと思う。カスミはみんな平面駐車場である。イズミヤは国道の向こう側であり、治安の悪い地下駐車場しかない。この頃は歩きや、自転車の人しか利用しなくなったことがイズミヤ衰退の原因だと思う。今度、新しいスーパーが入っても、土浦とか取手の二の舞になるのではないかと思う。駐車場は現況のままでしょうか。

市長 : イズミヤが撤退した原因として、関東圏では流通コストがかかるので、関西に集中しようということで関東を撤退したことがある。また、H 2 Oホールディングスに入ったということも原因としてあった。牛久駅を活性化するためには、駐車場の問題は大きな問題である。牛久市には市営住宅がある。それを、どのような活用するかは課題になる。大きな投資のためのコストがかかる。食品売り場であった場合、あの場所では採算はあっていたとの話を聞いている。地域を活性化という意味で、駐車場は大きな課題であることは認識している。

4 行政区の意見等話し合い

【駅西ニュータウン】

特になし

【秋住団地行政区】

秋住団地行政区 : 上町調整池 4 の秋住団地、宅地に面している領域の工事完了はいつか。工事予定地は、以前は閑静な田園風景でしたが、今は仮の水路などをつくっている状態で、葦などが生い茂って景観を著しく損ねています。工事計画を遅滞なく進めて一刻も早い緑地調整池の竣工を望みます。

秋住緑地調整池の工事实施予定はいつですか。現在、調整池予定地は雑草が生い茂って景観環境が甚だ劣悪なことから、緑地調整池の早期着工が望まれています。また、調整池

機能の満潮時水位設計値は何mになりますか。降水時の幼児等への注意喚起上から知りたいところです。地下水位が高いところで、液状化という面をよく把握しておきたい。

次に、城中田宮線について、秋住団地東側湿地帯に面している歩道のアスファルトはひび割れが生じて、路肩傾斜が、一部分ですが年々増大しているように感じられます。自転車などが誤って斜面に転げ落ちないかと危惧されるので、現地を確認されて安全対策等が必要か否かを判断して頂きたい。これについては、先月の末に、市役所で鉄パイプを何本か打ち込んで、トラロープを2段に張っていただいている。

城中田宮線について、根古屋橋に接続する工事の完了はいつになりますか。交通量が増大すると秋住団地への車両の出入りは極めて困難になるので、団地南側出入り口（城中汚水ポンプ場近傍）と北側出入り口（刈谷大橋上信号機近傍）への信号機設置を要望します。

建設部長：上町調整池4につきましては、平成24年度より土地取得を開始し、全体計画約33,000㎡の計画に対して、現在約26,000㎡の用地を取得しております。調整池整備工事につきましては、刈谷線と23号線のセブンイレブンの裏側に一部先行して実施した場所もある。今年度は、第2つつじヶ丘の自治会館の前の一部を施工し着手し工事を進めており、過去に実施した分をあわせると約9,400㎡が整備済みとなります。調整池予定地につきましては、一部の耕作されている箇所を除き、市で用地取得する以前より、耕作放棄地といった状態であり、状況改善のためにも、早期の調整池整備完了が必要であると認識しております。ご質問の、整備の完了時期については、国からの補助金の状況により整備の進捗は影響されるため、明確な時期をお知らせできないが、今年度と同等規模の補助金を想定して、概ね平成32年度の完成と推測している。今後も継続して進めて参ります。

また、秋住緑地の工事時期につきましては、これまで調整池機能を有した緑地として、国からの補助金を得て用地の取得を進めてきた経緯があるが、現在は国の制度改正により補助金を受けられない状況です。今後、別の補助金制度の活用を考えると共に、平成26年度のタウンミーティングでご回答した通り、雨水計画上は調整池を必要としないため、調整池以外の利用方法も視野に入れ検討して参ります。

ご質問2点目の、23号線の路肩の安全対策について、区長からのご意見を受けて、単管パイプにトラロープを2段設置する応急対策を1月25日に設置させていただいた。舗装のひび割れと路肩の傾斜に関しては、現地を確認し、修繕工法を検討し実施致します。ご質問の、城中田宮線について、根古屋橋に接続する工事の完了は何時になりますかということについて、根古屋橋に接続する道路は、城中田宮線ではなく、国道6号牛久土浦バイパスの道路であり、国土交通省常総国道事務所が整備を進めております。当該1.3km区間の完成時期について、国土交通省常総国道事務所へ問い合わせたところ、予算の関係もあり、完成時期については明言できないとのこと。

なお、常総国道事務所において、昨年12月下旬に城中行政区に工事内容について説明を実施しており、1月下旬より6号国道脇の城中地内において地盤改良工事に着手している状況です。

市民部長：信号機の要望について、信号機設置の指針があり、設置できない条件の場所であり、現状では信号要望を行っても実現は厳しい状況である。新規信号設置基数は県内で25基しかつかない状況で、スクラップ&ビルドという形をとっており、条件を満たしている場所であっても設置が厳しい状況です。要望はできるのでやっていきたい。

秋住団地行政区：信号機については、根古屋橋まで接続されて場合に交通量が多くなったことを考えて早くから要望をあげているということですので、よろしくをお願いします。

【新地行政区】

新地行政区：市道13号線の道路改良工事の残りの区間の工事予定、区民は大分待っているが、一部着手から5年を経過してしまった。国、県の事業はなかなか難しいこともあるため、市単独でこの事業を実施することができないか、検討いただきたい。

建設部長：昨年6月にも路線の要望がでており、回答は補助金がなくなったことにより難しい旨の回答をさせていただいた。今回、新しい回答はないが、やはり採択に向けて、国、県への要望・調整を実施していきたい。道路の補修等は随時行ってまいります。補助金に頼らず、市単独で実施することについては、建設部だけでなく市全体の話として、話をしていく。

【城中行政区】

城中行政区：砂利道になっているところの舗装化とU字溝の設置。通称、稲荷台という牛久沼の一番上でロケーションのよいところが、砂利道で雨がふるとぐちゃぐちゃになり、住んでいる方の出入りも大変、それとともに道がせまい。6号国道バイパス建設に伴い、家屋を移転する必要がある。移転先に今年中に建物を建てる必要がある。そうでないと現家屋の更地化引き渡しができなくなる。家屋移転先の住環境の整備、砂利道の舗装化とU字溝設置をしていただきたい。国道6号牛久土浦バイパスの計画は、現実的に実現は難しいのではないかと。ただし、現在進めている都市計画路線は今年の1月から延長していただき、安心して通学できる体制になった。バイパスについては、市・国より説明は受けており、地元としては理解を得ている。そのため、途中までできている、都市計画路線を早急に進めていただきたい。

建設部長：稲荷台の道路整備については、排水の確保、土地の取得、工事の必要があり、時間がかかる。この路線の排水をどのようにするか、というところが課題としてはあげられる。やる場合にも、事業期間は長くなることが考えられる。家屋移転先でのU字溝は反対側には整備されており、そちらを利用することができる。時間的な期限があるのであればそちらを利用していただければと思う。施行される事業者さんとは協議をし、そちら側に排水ができる話をしている。

国道6号牛久土浦バイパスは、牛久市遠山町を起点に圏央道のつくば牛久ICを通り、土浦市中に至る延長15.3kmのバイパスです。毎年国土交通省に対し要望活動を実施しておりますが、要望の主点としては、牛久市遠山町のバイパス起点から都市計画道路城

中田宮線までの1.3km区間の早期完成と、県道谷田部牛久線から国道408号までの1.9km区間の早期着工について要望しております。これらのバイパス区間と現在整備中の城中田宮線を接続することによって、整備効果が発揮され、暫定的なバイパス効果が期待できるものと考えております。また、残る区間について、常総国道事務所に状況を確認したところ当該区間は費用が掛かることから、現時点では、整備着手時期は未定との回答をいただいております。

【刈谷行政区】

刈谷行政区：刈谷自治会館前の前面宅地の入手、のり面を除いて300坪強ある。新地の方の所有で、平成26年からは、一部、ふれあい美化市民の会にて無償で借りて花壇としている。現在の刈谷自治会館は平成22年に立ったが、当初はこの宅地を購入することを希望していたが、牛久と地主との価格交渉が折り合わず、現在の場所となった。一昨年より、たまり場制度を採用したことにより、利用率が2割程高くなり、刈谷外からの利用者も増え、同好会によっては、駐車場に収まりきれない回もある。コミュニティ広場は270坪あり、以前は、刈谷自治会館が建っていた。コミュニティ広場としては、小学1年生の交通指導場所、ボーイスカウトの訓練場所、ふれあい便移動販売車の停留場所などに使っている。駐車車両が増えてきたため、昨年暮よりコミュニティ広場に駐車区画をつくり13台分の駐車区画を確保し、会館の6台分とあわせ、19台のスペースを確保したが、キャパシティを超える33台の車が駐車していたこともあり限界が近づいております。また、自治会の文化祭などの行事時には、自治会の役員を導入するとともに、三角コーンをおいて、路上駐車をしないように留意している。土地の持ち主の方は、市に買ってほしいとの意向を言っている。この土地を牛久市にて入手していただき、刈谷行政区での利用が可能となれば、駐車場だけでなく、模擬店場所や年2回実施する防災訓練の場所に利用でき、行政区の行事などを今以上に楽しく活発なものにできる。また、30、40年後に自治会館の立替の際にもこの土地を利用できる。刈谷では土地の値段が下がっており、坪5万で取引されたとの話を聞いている。この土地が外部の方に買われる前に、牛久市にて入手してほしい。

荃崎・新地への道路の拡幅。自治会館横から荃崎・新地への向かう道には以前は農道との看板が立っていたが、今は下に降りて、下水ポンプ場へ向かう道には、農道田宮第2とかけられている。突き当りの部分がクランクになっており、運転初心者はすれ違いの運転ができない状態である。城中田宮線が生涯学習センターからの道とつながると通行量は減少するかもしれないが、路肩に擁壁などはなく、田んぼ側に下がっている個所もあり、余計に狭くなってきて、通行に支障が出ている個所もある。道路の拡幅とともに、道路の路肩に、田んぼをわける擁壁を築いていただきたい。

新地へ向かう道が、ドッグレッグとなっており、昨年新地への芋畑に自治会館からバスを出した際に、その道は通れないだろうということで、三日月橋を通る回り道をした。のり面と空き地などを取得して、緩やかなカーブにできないか検討ください。

市民部長：集会所の用地取得について回答いたします。まだ、集会所がない行政区、用地がない行政区が多々あり、そのような行政区が最優先となります。用地取得は慎重に考えていきたい。公共用地の有効利用というのを再前提としまして、それを活用して集会所として考えていきたい。

建設部長：道路について答えさせていただく。道路整備については、各行政区より多くの整備要望を頂いており、通学路や幹線道路の整備を中心に実施しているところです。当該箇所の整備については、早期の整備は非常に困難なでございます。道路の補修等は随時行ってまいります。また、現在整備を進めております市道 23 号線が全線開通しますと、交通の流れも変わってくるものと考えております。そのため、早期の道路整備については、申し訳ないのですが、ご理解をいただきたいと思っております。

【下町行政区】

下町行政区：下町旧道の市で購入した土地（牛久町 57 番地）の整地についての現状報告をお願いします。

根古屋川の調整池に関する事として、平成 27 年に市の方から説明にきていただいた。調整池をつくるということであったが、あれから 2 年近くが経っているため、現在の進行状況についてお教えいただきたい。

建設部長：旧道沿いの土地について、牛久市で土地を取得して、将来の排水と合わせて道路整備として活用するとして購入したものである。昨年 6 月に暫定的にでも通過できるように整備をしていただけないかという話がございました。3 月議会において、この部分について市道の認定をかける予定です。そのうえで、暫定的な開通ということで、この土地の活用したなかで、5 m 程度の碎石道路の整備を進めていきたいと考えている。

下町地区の雨水を整備するために、下町緑地調整池を計画している、全体としては、3.2 ヘクタール。土地については、地権者と交渉してきた。土地については、全て取得して、今年度 3 月に、一部調整池の掘削工事を入れていく予定である。残る面積については、計画的に調整池の整備を進めていきたい。

【上町行政区】

上町行政区：現在、上町区民会館の建設を申請しておりますが、竹林側の通路が狭いので、防犯・防災を考慮し、通路の拡幅を併せてお願いしたい。

建設部長：ご要望の路線の整備については、補助金を活用した整備ができるように、国・県との協議を実施して参ります。